

第7回 阪神高速事業アドバイザー会議

議 事 概 要

1. 日 時：平成30年11月26日（月） 15：45～17：30

2. 場 所：阪神高速道路（株）役員会議室

3. 出席者：河合委員、北前委員、正司座長代理、中浜委員、矢野委員

（50音順）

4. 議事要旨：

○「議事(1)前回議事概要」について事務局より説明。

○「議事(2)平成29年度決算報告」「議事(3)平成30年度の事業実施状況・トピックス」について、それぞれ事務局より説明後、委員より以下のとおり意見が出された。

*災害による通行止時には、いつごろ開放する予定なのかの情報を、よりきめ細やかに発信できないか。

*働き方改革の推進に関して、働きながらの子育ては課題も多く、男性の協力がなければ成り立たない。男性社員の育児休業取得に関する指標等は、就職活動において学生の関心が高いと聞いている。より一層の見える化・アピールが必要。

*渋滞情報の発信については、これまでの渋滞データを分析するなどして、渋滞の解消見込みを合わせて情報発信できれば、より高速道路が利用しやすくなる。

*地震時には、計測値をよりきめ細やかに活用して、揺れに応じて自動的に通行止するなどの運用にすれば、通行止範囲をより限定できるのではないか。

*お客さまの声集約・分析システムは、データを集めるだけでなくうまく活用するようにしなければいけない。

*リニューアル工事では、事前説明や広報などにより、近隣住民への配慮がよくなされていると感じる。消費者側も安全・安心のための工事であることを認識し、双方が協力する必要がある。

*Twitterによる情報発信時には、ハッシュタグが検索する際のポイントになるので、工夫することでフォロワーが増加したり、より広く情報発信することができる。

*その他、安全対策・サービス高度化積立金、構造物の長寿命化と更新等に関して質疑応答があった。

－以 上－